

土器(縄文後期)▶



矢じりと土器——縄文時代

【第99回企画展示】

酒田びと くらしの知恵展

——土と石の文化——

開催期間 平成10年2月20日(金)～4月20日(月)
開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 2月～3月 月曜日(月曜日が休日のときは翌日)
4月以降 無休
入館料 大人100円 児童・生徒50円
65歳以上の方と身体障害者の方は無料

酒田市立資料館

酒田市一番町8-16 TEL(0234)24-6544

◆開催にあたって◆

人々をとりまく自然の恵み「水、石、土、木」を、人間の祖先は古代より生活の中にとりいれ、暮らしを豊かにすることを考え続けて来ました。

石器・縄文・弥生時代の生活用具としての石器・土器をはじめとし、長い年月にわたって工夫と改良を重ねたことは後世の多くの調査・研究によってすでに明らかなことです。このような知恵の積み重ねが今の世に至っていることに思いをめぐらす時、今更のように自然と人類の関わりとその恵みを考えずにはられません。

今回は、土と石の道具について、これらをどのように生活の中にとりいれ土と石の文化を作りあげてきたのかということについて展観し、人々の知恵と工夫について考えて見ようと思います。

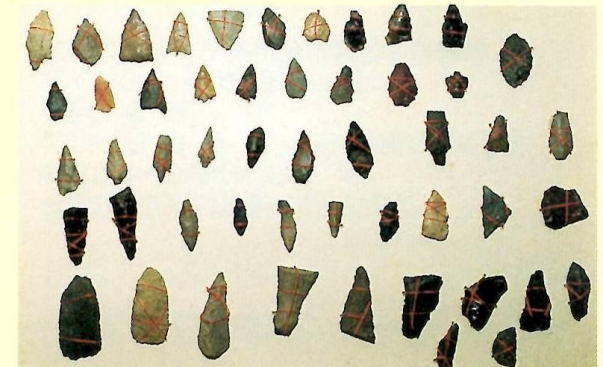
なお、土人形については101回展で別に展示する予定です。

石器と土器 — 縄文時代 —

●□印以外の資料は、いずれも資料館所蔵。



柄をつけて使った道具



石の矢じり



石斧



●石棒(祭祀用)



石皿

城輪の時代



□首長つぼ



□赤焼き浅鉢



□ふたと皿



伝 国分寺瓦



かめ(須恵器)



□かめ(須恵器)

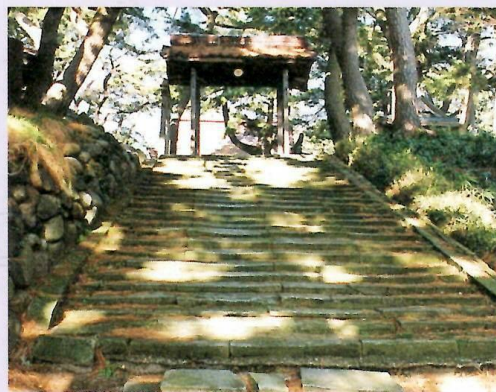


城輪政庁軒瓦(復元)

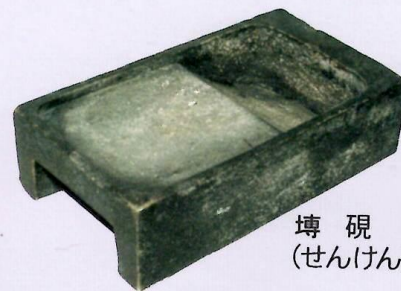
土と石を使う — 近世以降 —



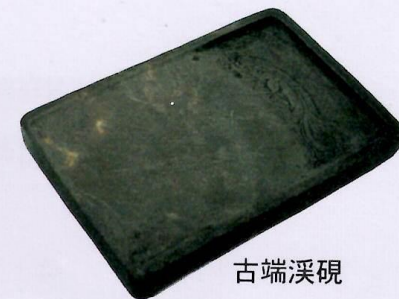
休み石
(旧観音寺街道)



笏谷石階段(日和山公園)



埴 硯
(せんけん)



古端溪硯



亀ヶ崎城跡出土の皿



湯たんぽ

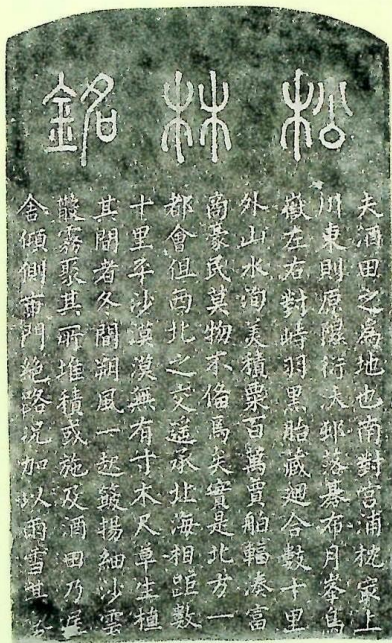


亀ヶ崎城の瓦(下日枝神社隨身門の屋根瓦)



土鈴

石に刻む



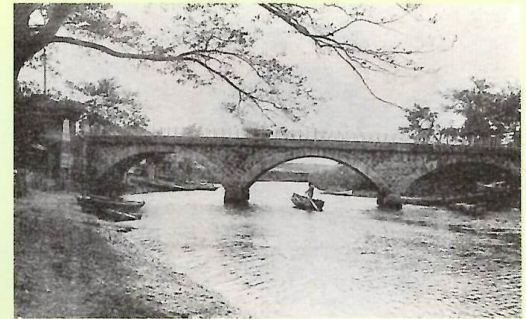
松林銘拓本
(日和山公園)



句碑拓本
(日和山公園)



板碑(延命寺)



旧新田橋(めがね橋)